

# 6 札場河岸公園



## DATA・BOARD ⑥

- ①埼玉県草加市神明2丁目地内
- ②面積約3,000㎡
- ③望楼、休憩舎、芭蕉像、投句箱
- ④県産の木材(スギ、ヒノキ等)、石材ほか
- ⑤投稿俳句の回収・表彰など



草加市の神明地区は、日光街道の草加松原の南端に位置し、かつては綾瀬川を利用した水運の札場河岸と呼ばれた舟着き場もあった。この地名の由来から名付けられた「札場河岸公園」は、五角形をした望楼と休憩舎をシンボルとしている。望楼は埼玉県産のヒノキやスギを用いた純木造建築で、螺旋階段を上がった展望台からは、草加松原、再生された河岸、綾瀬川などが一望できる。また、夜間はライトアップが施され、地域のランドマークにもなっている。

園内には松尾芭蕉の『奥の細道』の冒頭にある「やうやう草加といふ宿にたどり着きにけり」というくだりにちなんで、市民から寄せられた資金によって等身大の芭蕉像が建立され、投句箱も置かれている。